

- 問1 7世紀初め、聖徳太子は中国の進んだ制度や文化を取り入れることを目的として、小野妹子らを隋（ずい）へ派遣しました。この外交政策の名称として正しいものを、次のうちから選んでください。（2015年 大分県公立入試 類似）
1. 遣明使
 2. 朝鮮通信使
 3. 遣唐使
 4. 遣隋使
- 問2 ある歴史上の人物の業績をまとめた資料に、「蘇我氏を打倒して新しい国家体制の基礎を築いた後、滋賀県の近江大津宮で即位した」という記述があります。この人物が後に即位した名称として正しいものはどれですか。（2020年 茨城県公立入試 類似）
1. 聖武天皇
 2. 天智天皇
 3. 桓武天皇
 4. 推古天皇
- 問3 645年に始まった大化の改新を中臣鎌足とともに主導した中大兄皇子は、後に天皇として即位し、わが国初となる全国的な戸籍を作成するなどの政治改革を推進しました。この人物の名称として正しいものを選んでください。（2018年 愛媛県公立入試 類似）
1. 天智天皇
 2. 聖徳太子
 3. 桓武天皇
 4. 天武天皇
- 問4 7世紀前半の東アジアでは、中国を統一した唐が、朝鮮半島の北部に位置する国を攻撃するなど、軍事的な緊張が高まっていました。このような国際情勢の変化は、日本において強力な中央集権国家を目指す大化の改新が起こる大きな要因となりました。このとき、唐の攻撃を受けた朝鮮半島北部の国名を答えなさい。（2021年 熊本県公立入試 類似）
1. 百済
 2. 新羅
 3. 渤海
 4. 高句麗
- 問5 飛鳥時代、推古天皇の摂政であった聖徳太子は、中国を統一した隋の高度な制度や文化を取り入れるために使節を派遣しました。607年にこの使節（遣隋使）として中国へ渡った人物の名前として正しいものはどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）
1. 小野妹子
 2. 鑑真
 3. 足利義満
 4. 中大兄皇子
- 問6 飛鳥時代に聖徳太子（厩戸皇子）が定めた「十七条の憲法」の内容と、その対象について説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2015年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 日本で初めての本格的な律令であり、天皇を中心とした行政組織の仕組みや刑罰について詳しく定められている。
 2. 一般の民衆に対して年貢の納め方や犯罪の取り締まりについて説いたもので、儒教の教えを広めるために作られた。
 3. 役人が守るべき道徳や心得を示したもので、和を大切にすることや天皇の命令には必ず従うべきことなどが記されている。
 4. 武士に対して領地に関する争いを裁くための基準を示したもので、前例や道理に基づいて公正に裁判を行うことを目的としている。
- 問7 飛鳥時代において、聖徳太子（厩戸王）を摂政に任命し、協力して天皇を中心とした国づくりを進めた日本初の女性天皇は誰ですか。（2026年 静岡県公立入試 類似）
1. 持統天皇
 2. 天智天皇
 3. 天武天皇
 4. 推古天皇
- 問8 壬申の乱に勝利して即位し、律令に基づく天皇中心の国づくりを強力に進めた人物は誰ですか。（2024年 岩手県公立入試 類似）
1. 桓武天皇
 2. 推古天皇
 3. 聖武天皇
 4. 天武天皇
- 問9 飛鳥時代から現代までの日本の歴史を時系列で並べた際、聖徳太子が「十七条の憲法」を制定した時期よりも「後」の出来事であり、かつ奈良時代に行われた事柄として正しいものはどれですか。（2024年 静岡県公立入試 類似）
1. 日本で最初の女性天皇として、推古天皇が即位し政治の基盤を整えたこと
 2. 安土桃山時代を象徴する、豪華な装飾が施された城郭が各地に築かれたこと
 3. 自分で新しく切り開いた土地を永久に自分のものにすることを認める「墾田永年私財法」の施行
 4. バブル経済が崩壊し、長期にわたる景気の後退が始まったこと
- 問10 古代の権力争いに関する記録において、蘇我氏が渡来人の持つ高度な技術や知識を背景に勢力を伸ばし、対立する物部氏を退けて政治の実権を握った背景について、正しい説明はどれか。（2025年 岡山県公立入試 類似）
1. 蘇我氏は独自の神事による統治を目指し、仏教を広めようとした渡来人の一族を追放した
 2. 蘇我氏は武家社会の到来を予見し、幕府を開くために伝統的な公家勢力であった物部氏を制圧した
 3. 蘇我氏は守護大名としての地位を確立するため、山名氏と結んで応仁の乱を引き起こした
 4. 蘇我氏は大陸の新しい宗教や文化を国家運営に活用しようとし、反対派を排除して中央集権化を進めた
- 問11 飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）が推古天皇の摂政として政治を行っていた時期に定められた「冠位十二階」の制度について、その目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2019年 長崎県公立入試 類似）
1. 仏教の教えを政治の基本とし、国民全体の道徳を高めるため
 2. 有力な豪族に対し、代々特定の役職に就く特権を認めるため
 3. 戸籍を作成して人々に土地を割り当て、税の徴収を確実にするため
 4. 家柄にとらわれず、能力や功績のある人物を役人に登用するため
- 問12 用明天皇の皇子であり、叔母にあたる推古天皇の摂政として、蘇我馬子と協力しながら政治を行った人物は誰か。（2020年 熊本県公立入試 類似）
1. 聖徳太子
 2. 藤原不比等
 3. 中大兄皇子
 4. 大海人皇子
- 問13 7世紀後半、朝鮮半島で滅亡した百済を復興させるために日本が送った軍が、唐と新羅の連合軍に大敗した戦いを何というか、名称を答えなさい。（2021年 三重県公立入試 類似）
1. 長篠の戦い
 2. 壇ノ浦の戦い
 3. 桶狭間の戦い
 4. 白村江の戦い
- 問14 「第一条に、和をなによりも大切なものとする」「第二条に、仏・法・僧の三つの宝を敬うこと」「第三条に、天皇の命令を承ったときは必ず謹んで従うこと」といった内容が記されている資料の、歴史的な背景として最も適切なものはどれですか。（2023年 長崎県公立入試 類似）
1. 遣唐使によってもたらされた最新の法律制度をそのまま導入し、法治国家を目指した。
 2. 仏教を国教として定め、寺院が政治に介入することを認める特権を与えた。
 3. 豪族同士の争いを鎮め、天皇を中心とした中央集権体制の基礎を築こうとした。
 4. 武士が政治の実権を握ったため、朝廷の権威を取り戻すための軍事的な規則を定めた。
- 問15 聖徳太子が活躍した7世紀初め頃の政治の様子について、制度の内容とその背景を記述した文として正しいものはどれですか。（2019年 長崎県公立入試 類似）
1. 律令に基づいて全国を国・郡・里に分け、中央集権的な地方支配体制が完成した。
 2. 冠の色によって12段階の位を示し、個人の功績に応じて地位を与える制度が整えられた。
 3. すべての土地を国有とする「公地公民」の原則が確立され、農民に口分田が与えられた。
 4. 地方の有力者が「国司」として任命され、中央から派遣された役人と共に土地を治めた。